

# 施設長より



今年度、あいのわ福祉会の生活介護施設でバスの地域割りが実施されました。これにより、たくさんの利用者の方々が、これまで通っていた通所先から、新たな施設へと移動されました。

「この、契約の時代に措置制度みたいな」と思われる方も少なくないと思いますが、先の震災を受け、また、今後必ず起こると言われる首都直下型の大地震に備え、足立区としても苦渋の決断をされたのだと思います。

利用者の皆様には、新たな園に移動された方、残られた方に関わらず、新しい仲間や職員と新しい生活を送られていることと思います。

この3か月間、利用者の皆様、ご家族様、我々支援員が、それぞれの立場で、戸惑い、模索を繰り返しながら過ごしてきましたが、皆様はどのようにお感じになられているのでしょうか？

それぞれの場で新しい出会いが生まれ、少しずつお互いの人柄に触れ、人となりを知り、楽しい時間を過ごして頂いているように、私は感じております。

たくさんの人に触れ合い、新しい環境で新たな体験を積むことで、新しい自身の一面に気づいたり、新しく興味や関心ごと・得意なことが増えていくかもしれません。

まだまだ不安を抱える方も中にはいらっしゃると思いますが、皆様のよりよいライフステージを支えるため、同時に『いざという時』にも備えながら、今後ご家族の皆様とともに前向きに進めていきたいと考えております。

あいのわ福祉会は、今年22周年目を迎えます。この間、時間の経過とともに、様々なサービスの提供や、その充実を図るために、事業所、職員数も大幅に増加いたしました。

今回、バスの地域割りに絡め、これまでのあり方を見直す取り組みを始めています。事業部体制導入のもと、入浴やクラブ活動、選択旅行など、楽しい取り組みも目白押しです。個人情報取り扱いや災害時対策など、課題となる点を一つひとつ見直し、新たなあいのわ福祉会を作り上げていきたいと考えておりますので、ご理解の上、皆様のご協力、よろしくお願い申し上げます。

小山

## 編集後記

新年度となり、広報委員も田中、八木橋、中村の新メンバーで行なっていきます。今年度も綾瀬あかしあ園のホットな情報をお伝えしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。(なお、今回紙面の都合上、新人職員の紹介は次号に回させていただきます。次号は9月発行予定となっていますので、お楽しみに！)



あいのわ福祉会

# Ayase River Times

みんなで「ほっと、いっしょに、いきいきと」  
～安心・信頼を大切に 共に考え・学び、お互いの自己実現を目指します～



## 入園式・開園式

バスの地区割りにともなう利用者の方々の移動、また3名の新規利用者を迎えるにあたり、平成27年4月8日(水)、綾瀬あかしあ園にて「入園式・開園式」を行ないました。

入園式では、花岡千春さん(Aグループ)、加藤勇樹さん(Aグループ)、何忠祥さん(Cグループ)の3名を新たに迎えることとなりました。式のあいさつの際には少し緊張した面持ちがあるようでしたが、この広報誌が出るころには、3人とも他の利用者の方々、支援員とも交流を深め、充実した園での生活をされていることと思います。これからも季節行事や旅行などのイベントも控えているので、みんなで楽しんでいきたいと思います！

続いて開園式を行ないました。各新グループのリーダーから、所属の利用者の方々、支援員の名前を読み上げていきました。前年度から行なっていた施設見学や、また今年度になって綾瀬に通所してからも、なかなかまだ実感が湧かなかった人も、こうしてみんなで集まり、節目の会を行なうことで、「新年度がはじまったんだな。」という実感をあらためて持たれた方も多くいたのではないのでしょうか。

参加していただいたご家族の皆様、ご来賓のみなさまにはあらためて感謝申し上げます。



花岡千春さん



何忠祥さん

加藤勇樹さん



## A グループ

Aグループは今年度17名の仲間と支援員7名でスタートしました。4月ごろは皆さん新しい環境、新しい仲間に対し緊張しているようでしたが、今では一緒に作業や活動に参加したり、休み時間にはパソコンやiPadを使用して音楽を流して歌ったり踊ったりしている様子が見られます。また、5月より新しい仲間が1名、6月より支援員が1名増え、さらに活気の溢れるグループとなっています。

Aグループの活動は主に受注作業となっています。ハンガー組み立て・雑誌の付録封入・おしぼり再生作業を行っています。

また日常動作訓練の向上を目指し、毎日のラジオ体操を始めDVD体操を取り入れた活動も行なっています。



## B グループ

Bグループは12名の利用者と5名の支援員で生活しています。Bグループでは作業と活動を通して経験を積むことと、集団生活を通して他者との関わりを大事にしています。作業としてはおしぼり再生作業と自主生産品作りを主に取り組んでいます。活動は創作活動を中心に調理活動やレクリエーション等を行っています。創作活動では皆で作品を作り上げることで達成感の共有を図り、4月には桜、5月には鯉のぼり等、季節に沿って様々な作品を作っています。園の玄関に飾っていますので、園に来られた際は是非、ご覧ください。今年度もよろしくお願い致します。



## C グループ

今年度Cグループは利用者14名、支援員9名でスタートしました。4月当初は新しいメンバー、新しい環境に戸惑う様子も見られましたが、徐々に慣れてきて、今は活動や余暇の時間を通してグループのメンバーとの関わりを楽しむ様子が見られています。

Cグループは『五感を活かして自己表現につなげる』ということ大切にしており、活動も『感じる』を目的とした内容を考えて行っています。音楽&身体活動では、楽器演奏やボディタッチダンスを行い、自ら音を出すことや周囲の方と触れ合うことでの関わりを楽しんでいただいています。また、調理活動では食材の匂いや手触りを感じていただき、リラクゼーション活動ではハンモックやトランポリンに乗って揺れを楽しんでいます。他にもお天気が良い日は積極的に公園などに散歩に出掛けています。



## D グループ

今年度からグループ名がアルファベットになり、Dグループは利用者の方が8名、職員が6名でのスタートとなりました。

Dグループの支援の取り組みとして『一人ひとりとの関わりを大事に、じっくりと向き合うことで、自己表現につなげるグループ』と挙げていますが、園生活、活動等を通じて、たくさんの自己表現を引き出していければと考えています。

活動として4月には近隣の公園に花見に、5月は東綾瀬公園、6月はしょうぶ沼公園、足立あかしあ園と、園外に出る散歩活動を毎月行っています。また、お茶会と題して、屋上でカフェ気分を体験したり、1m以上もある風船を部屋一杯にして、不思議な空間を体験するバルーンワールド等の活動を行ってきました。今後も、利用者の方に楽しんで頂き、自己表現に繋がれる、色々な活動を行っていききたいと思います。

